

様式第3号（第4条関係）

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

丹波篠山市脊椎動物化石保護・活用委員会

2 開催日時

令和5年3月24日（金）午後2時00分から午後3時00分まで

3 開催場所

西紀老人福祉センター 2階 健康教育ホール
宮田重点保護区域

4 会議に出席した者の氏名

- (1) 委 員 佐藤裕司、樋口清一、谷垣友里、田中至子、雪岡ひとみ、
足立正道
- (2) オブザーバー 教育研究所指導主事 足立圭吾
- (3) 発掘調査報告者 兵庫県立大学自然・環境科学研究所特任教授 田中公教
- (4) 執 行 機 関 丹波篠山市教育長 丹後政俊
丹波篠山市教育委員会事務局文化財課 課長 村上由樹
同 係長 植木友
同 主査 山本有子
同 化石保護技術員 奥岸明彦

5 傍聴人の数

0人

6 議題及び会議の公開・非公開の別

全て公開

7 非公開の理由

該当なし

8 会議資料の名称

令和4年度丹波篠山市脊椎動物化石保護・活用委員会資料

9 審議の概要

- (1) 開会

(2) 委嘱状交付

(3) 教育長あいさつ

(4) 役員選出

委員長 樋口 清一 氏、 副委員長 佐藤 裕司 氏
樋口清一委員長より就任あいさつ

(5) 議事

報告事項

①令和4年度事業報告について（事務局説明）

(質疑・応答)

A 委員： 宮田重点保護区域で採取した岩石はどのように扱われるのか。

事務局： 一部は化石発掘体験イベントや校外学習プログラムで活用し、一部は太古の生きもの市民研究所で調査を行う。市民研究所で一時的に保管していても最終的には人と自然の博物館で保管されることになる。令和4年度の校外学習プログラムでは全ての学校において宮田重点保護区域で採取した岩石を使用した。

B 委員： 発掘調査で何か注目すべきものは出ていないか。

発掘調査： 後ほど現地で説明するが、思いのほかいろいろなものが見つかった。

報告者

C 委員： 小学校での校外学習プログラムで児童が発見した化石は太古の生きもの館展示室で一定期間展示してはどうか。入館者数の推移を見ると開館した年は8千人ほどの入館者があった。展示を行うことで入館者数は増えるのではないか。

事務局： 定期的に化石の展示は入れ替えを行っている。児童が発見した化石のうち、一般の方が見ても分かるぐらいのものは展示しているが、顕微鏡で確認しなければ化石と認識できないものもある。分かりやすいものを選んで展示を行っている。

D 委員： 校外学習プログラムを実施する小学生は何年生か。

事務局： 6年生の児童を対象に実施している。6年生の大地のつくりの授業でプログラムを活用されている。

D 委員： 理科の授業で活用されているということか。

事務局： 理科の授業で活用されている。

D 委員： 並木道中央公園にある恐竜の模型はどんなものか。

E 委員： ティラノサウルスとトリケラトプスの模型である。

事務局： 模型は人が近づくとセンサーが反応して鳴くようになっている。模型のほか、遊具も設置されたことで並木道中央公園の来園者が増加しており、それに伴い令和4年度の太古の生きもの館の入館者数も増加したと思われる。

②宮田重点保護区域における発掘調査について

宮田重点保護区域に移動。

令和4年11月に実施された人と自然の博物館による発掘調査について、兵庫県立大学自然・環境科学研究所特任教授の田中公教先生より報告

(6) 閉会

以上